

がんと就労について考えよう

《治療も仕事もあきらめない》

がんになっても生きがいを感じながら働き続けるためには、
どうすれば良いのでしょうか。
本講座では、講演やディスカッションを通じて考えていきます。
ぜひご参加ください。

会場聴講

100人

参加無料
事前申込制

日時

2024年2月4日(日) 13:30~16:10

場所

大阪市立歴史博物館 講堂

(大阪市中央区大手前4丁目1-32)

Osaka Metro谷町線・中央線
「谷町四丁目」駅2号・9号出口
大阪シティバス「馬場町」バス停前

プログラム

※プログラムは現段階の予定であり、今後変更する場合があります。

開会あいさつ

(5分)

山本 信之 氏

和歌山県立医科大学附属病院/
認定NPO法人西日本がん研究機構 (WJOG) 理事長

山本 信之 氏

講演

(①30分、②③④各20分)

①「肺がん治療の進歩と、長期生存時代における両立支援の重要性」

三浦 理 氏

新潟県立がんセンター新潟病院内科・内科部長/
認定NPO法人西日本がん研究機構 常任理事

三浦 理 氏

②「医師の立場から」

高橋 都 氏

NPO法人日本がんサバイバーシップネットワーク代表理事/
岩手医科大学・東京慈恵会医科大学客員教授

高橋 都 氏

③「産業医の立場から」

立石 清一郎 氏

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授/
産業医科大学病院 就学・就労支援センター 副センター長

立石 清一郎 氏

④「企業と患者、双方を知る立場から」

村本 高史 氏

サッポロビール株式会社 人事部
プランニング・ディレクター

村本 高史 氏

パネルディスカッション

(50分)

がんと就労について考えよう

パネリスト

三浦 理 氏

新潟県立がんセンター新潟病院内科・内科部長/
認定NPO法人西日本がん研究機構 常任理事

高橋 都 氏

NPO法人日本がんサバイバーシップネットワーク代表理事/
岩手医科大学・東京慈恵会医科大学客員教授

立石 清一郎 氏

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授/
産業医科大学病院 就学・就労支援センター 副センター長

村本 高史 氏

サッポロビール株式会社 人事部
プランニング・ディレクター

池田 慧 氏

神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 医長/
認定NPO法人西日本がん研究機構 理事 教育広報委員・
WING (呼吸器グループ若手会) 代表

池田 慧 氏

司会進行

松本 陽子 氏

NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長



松本 陽子 氏

閉会あいさつ

(5分)

三浦 理 氏

新潟県立がんセンター新潟病院内科・内科部長/
認定NPO法人西日本がん研究機構 常任理事申込
方法

インターネットからお申し込みください

※事前申し込みが必要です

→詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ

「2024WJOG大阪市民公開講座」事務局

☎06-6364-9005 (平日10:00~17:00 ※年末年始 12/29~1/4除く)
jimukyoku@oys.jp

認定NPO法人 西日本がん研究機構 (WJOG)

PROFILE

三浦 理氏

新潟県立がんセンター
新潟病院内科・内科部長／
認定NPO法人西日本がん研究機構 常任理事

2000年新潟大学医学部卒。2002年新潟大学第二内科（現：呼吸器感染症内科）入局。2009年から静岡県立静岡がんセンターにて薬物療法修練医レジデントを経て、がん薬物療法専門医となる。2011年新潟大学医歯学総合病院呼吸器感染症内科非常勤医師・特任助教を経て、2015年から新潟県立がんセンター新潟病院に入職、2016年から現職となる。地方のがんセンターでがん診療を行いながら、臨床研究を通してがん診療にかかわる日本全国の若手医師の育成指導にも携わっている。日本肺癌学会評議委員・肺癌診療ガイドライン委員。

立石 清一郎氏

産業医科大学 産業生態科学研究所
災害産業保健センター 教授／
産業医科大学病院 就学・就労支援センター 副センター長

2000年産業医科大学医学部卒業。2009年より産業医科大学産業医実務研修センター教員を経て、2017年より産業医科大学病院両立支援科診療科長および就学・就労支援センター副センター長。2021年より産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター教授。資格は労働衛生コンサルタント(保健衛生)、日本産業衛生学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医など。産業医科大学災害産業保健派遣チーム事務局。研究テーマは両立支援、災害時の労働者の健康管理、女性の健康管理など。令和3年度日本産業衛生学会奨励賞。令和3年度福岡防災賞。

池田 慧氏

神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 医長／
認定NPO法人西日本がん研究機構 理事 教育広報委員・
WJOG(呼吸器グループ若手会) 代表

2007年金沢大学医学部卒、呼吸器専門医・がん薬物療法専門医。倉敷中央病院等での研修を経て、2015年より現職。肺がんの薬物療法を専門とし、日本肺癌学会ガイドライン薬物療法及び集学的治療小委員会委員や、西日本がん研究(WJOG)など臨床試験グループの委員を務める。また、日本肺癌学会教育研修委員会委員／肺がん医療向上委員会委員、日本臨床腫瘍学会学術集会部会恒常委員(患者支援・survivorship)、WJOGがん治療と仕事の両立支援プロジェクトメンバーとして、就労支援を推進する活動を行っている。

山本 信之氏

和歌山県立医科大学附属病院／
認定NPO法人西日本がん研究機構(WJOG) 理事長

1989年和歌山県立医科大学医学部卒。国立がん研究センターレジデント、近畿大学医学部、静岡がんセンターを経て、2013年から和歌山県立医科大学内科学第三講座教授、現在、腫瘍センター長、臨床研究センター長、バイオメディカルサイエンスセンター長、副院長を兼務。日本肺癌学会常任理事、日本呼吸器学会理事、日本がんサポーターブケア学会理事。

高橋 都氏

NPO法人日本がんサバイバーシップ
ネットワーク代表理事／
岩手医科大学客員教授・東京慈恵会医科大学客員教授

1984年岩手医科大学卒。一般内科医として都内で10年勤務後、東京大学大学院で国際保健学を専攻。東京大学、獨協医科大学で社会医学系の教員として勤務。2013-2020年に国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援部長として、がん経験が社会生活に及ぼす影響に関する研究と支援実践に取り組む。この間、2017年に胆管がんの夫を自宅でみとる。定年退職後、NPO法人日本がんサバイバーシップネットワークを設立し、「学ぶ」「楽しむ」「発信する」を合言葉にして活動している。港区立がん在宅緩和ケア支援センター「ういケアみなと」のアドバイザーとしても勤務。

村本 高史氏

サッポロビール株式会社 人事部
プランニング・ディレクター

1964年東京都生まれ。1987年東京大学文学部卒、サッポロビール入社。2009年に頸部食道がんを発症し、放射線治療で寛解。2011年、人事総務部長在任時に再発し、手術で喉頭全摘。その後、食道発声法を習得。がん経験者の社内コミュニティ「Can Stars」の立上げ等、社内で治療と仕事の両立支援策を推進。現在はNPO法人日本がんサバイバーシップネットワーク副代表理事や厚生労働省「がん診療連携拠点病院等の指定検討会」構成員、「厚生科学審議会がん登録部会」臨時委員も務めている。

松本 陽子氏

NPO法人
愛媛がんサポートおれんじの会 理事長

1965年愛媛県出身。19歳のとき、父親をがんで亡くす。NHK松山放送局で医療問題の取材に取り組んでいた33歳のとき、子宮頸がんが見つかり、手術と抗がん剤治療を受ける。2008年、愛媛でがん患者と家族の会を設立、2009年NPO法人化。2015年、全国がん患者団体連合会を仲間と共に設立。一般社団法人全国がん患者団体連合会 副理事長。

お申し込み方法

インターネットからお申し込みください

インターネット

<https://yab.yomiuri.co.jp/article/WJOG0204>



※応募多数の場合は抽選となります。当選者には参加案内のメールをお送りします。申し込みの際の個人情報、「読売新聞社 個人情報保護方針」に従って取り扱います。

応募
締め切り

1月26日(金) 23:59まで

お問い合わせ

「2024WJOG大阪市民公開講座」事務局
☎06-6364-9005 (平日10:00~17:00 ※年末年始 12/29~1/4除く)
jimukyoku@oys.jp